## いよいよ9月18日《壮大なオホーツク2万年への旅》一挙公開へ!! 北海道写真の露口啓二の大規模展示が八戸市美術館で!!

米内安芸 (ICANOF代表)



左から豊島重之、伊藤二子、露口啓二、米内安芸

3

来たる9月18~27日の計十日間 リ・ローマ・東京巡回展 の写真家露口啓二の四百点にも及 代表する気鋭写真家8人」の一人 **ぶ初の大規模展示。露口さんはパ** 文化振興基金の助成事業として、 8月に受賞式がある「東川フォ に選ばれたことで有名だが、今年 入場無料・休館日なし)、 **公催の八戸市美術館全館をフルに** 今年のICANOF展は、 メインゲストは札幌 「日本を 会場

沙流川の地図を掲げる露口さん

5月24日、

八戸市美術

その露口さんを去る

としてまことに相応しいプロジェ クショントークだった。 ICANOF八戸芸術大学の講師 てから、 に写真家港千尋さんを講師に迎え は や8年。 第 30 回 記念

が参加した方々の心を大きく動か

したと思われる。

2001年4月

た露口さんの「オホーツク写真

案内状とポスターに使用され

く事前報道されたことにもよる

は、

確かに新聞に大き

る76名の

一般参加者

ができた。予想を超え 講座にお招きすること 館講義室での市民公開 動のものにした。

露口」の名をさらに不 のニュースは「気鋭=

フェスタ特別賞」決定

もちろん星野道夫の撮る「美しい」 万年への旅 今回 テクスト資料のシモキタ佐井 ロラ写真のようなものではな のテー /極光の果てへの旅』。 『オホーツク?



ICANOF芸大トークの様子

右から米内安芸、露口啓二、伊藤二子 会場 八戸市美術館 / photo by ICANOF 間ICANOF<http://www.hi-net.jp/icanof>

む露口作品と伊藤二子作品の新作 れるICANOF展での新作を含 ころである。 に受け止められたか、 体から見返す眼差し」をどのよう くる深い眼差しと対峙する「被写 研究と努力、なごやかな人柄から イヌの地名」にかけた、 多くの受講者は、露口さんの だけではない何かがあると思う。 心の奥の奥になじむものがあるの ただきたいと願うばかりである。 同じ北の地に住まいするから 多くの方々にご来駕 9月18日から開催さ 今回の講座をプロ 気になると たゆまぬ

る 光までもとらえたとしたら、 2万年の悠久の彼方を、 けではうかがい知ることはできな 村の写真にしても寒々とした曇天 にも仕掛け人豊島キュレーター い数々のスライド写真から、 ヤーフォトとはほど遠い。 「美しい罠」にハマったことにな んの抑揚もない、見捨てられたよ こちら側からの目線だ 自然「豊かな」 さらに極 ネイチ 一見な ţ

riday Amusement Negative Shop

7月のFANS (804~808回) 7月10/17/24/…19:30開始 7月4/11/18日…14:00開始

演劇空間

八戸市柏崎1-11-8 ្ត 0178-43-9876 FAX 050-3588-8350 080-6025-0990 HP http://spaceben.com/

Eメール owner@spaceben.com

※特別番組以外全て午後7時30分~、料金/一般400円 高校生以下100円(当日100円増) ※チケットはスペースペンにて販売。スペースペンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

## 7月号好評発売中!

## ●今月のテーマエッセイ

愛 ヶ崎 川を下る………戸 川拓 馬 青い海……三浦由起 子 水と雲と焼肉と……船 橋 敏 昭 夏点描……加 中 美



## ●今月のインタビュ

ナイトイン「すすきの」酒蔵・蕎麦「竹爐山房」店主 加藤貴美江 さん(59歳)に聞く

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみねこ出版社 八戸市六日町10 いわとくパルコ3F TEL·FAX 0178-44-6636